

令和4年度 音更町立音更小学校 学校経営の基本方針・重点

◇教育目標◇

進んで学ぶ子 思いやりのある子 伸びよ！

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 道教育ビジョン
- 管内教育の重点

- 音更町教育目標
- 音更町教育執行方針

目指す

子ども像

- 「あ」：あいさつ
- 「い」：いのち
- 「う」：うんどう
- 「え」：えがお
- 「お」：おもいやり

学校像

- 「令和の音更小型教育の推進」
- ・120周年における、過去と未来をつなぐ「今」の教育
- ・ウィズコロナの継続的教育活動
- ・個別最適な学びと協働的な学びの両立

教師像

- ①学び続ける教師
- ②つながりあう教師
- ③教えるプロとして真価を発揮する教師
- ④好かれるより、頼れる教師

心づな

心づな

心づな

チーム音小づな

連携・協働づな

◇3(スタンス)×5(柱)の学校づくり◇

『繋がり』 『徹底』 『統一』

- 個別最適な学びと協働的な学びの実現する授業実践
 - ・ICTを活用した授業
 - ・「これまで」と「これから」を適切に組合せた指導
- カリキュラム・マネジメントの充実
 - ・全員参加
 - ・地域、家庭との協働
- 学びの基盤整備
 - ・学習規律の統一・徹底
 - ・3つの基本、5つの確認
 - ・継続的な学習の保障
- 特別支援教育の充実
 - ・多様な学びの場の工夫
 - ・個の実態とニーズを踏まえたきめ細かい指導
 - ・指導体制の工夫
- 未来に生きるキャリア教育
 - ・キャリアパスポートの活用
 - ・全教育活動によるキャリア教育の実践
- スケールメリットを生かした教育活動の充実
 - ・高学年における教科担任制の導入
 - ・指導の協働化

- 道徳教育の充実～道徳の授業、学級経営、人権教育
- 音小っ子の4つの仕草～挨拶・返事、廊下歩行、踵揃え、立腰
- 郷土「音更」を生かした学習～郷土理解、地域の一員意識の育成
- 自己肯定感の向上～2つの実践(認め、励ます言葉かけ、家庭・地域を巻き込む)
- 「いじめ0」「不登校0」～組織対応

- 運動量の確保～3つ(体育授業、外遊び、体育環境)の充実
- よりよい生活習慣～早寝・早起き・朝ごはん
- 危機対応能力の向上～3つの活動(危機対応訓練、交通安全指導 保健指導)
- 体力の見える化～新スポーツテストの実施と結果活用
- 感染症対策～「新しい生活様式」を踏まえた感染予防の継続と徹底

- 開校120周年の取組
- 基本的な生活習慣の定着～家読・家庭学習、運動、徒歩通学
- 学校の応援団づくり～CS 幼保小中高大連携
- 学校評価システム確立～組織的分析・改善の見える化
- 安全指導～交通安全・防犯・防災教育、引き渡し体制、
- 児童虐待の早期発見等による安心安全な学びの保障

- 働き方改革の推進～お互いさま・学年団意識の分担・連携
- 組織的対応～3つのS(組織・スピード・誠意)
- 質の高い「当たり前」の実現～共進

つながり、かかわり合う笑顔あふれる音更小